

14 英国

UK

基礎データ	人口	6,697万人(2022年)	日本との関係	日系企業数	955社(2022年)
	名目GDP	3兆891億米ドル(2022年)		在留邦人数	64,970人(2023年)
	1人当たりGDP	46,125米ドル(2022年)		日本食レストラン数	1,260店(2023年)
	実質GDP成長率	4.3%(2022年)			

1 市場の特性と消費の動向

寿司文化は定着するも、白米のまま食べる習慣はない

A 市場の特性

英国は欧州最大のコメ消費市場の一つですが、コメを生産せず、欧州最大のコメ輸入国となっており、その輸入量は増加傾向にあります。主な輸入先はインドで、金額ベースで輸入総額の約27%を占めており、パキスタン(16%)、イタリア(14%)がこれに続きます。FAOによれば、英国におけるコメ・コメ加工品の1人当たりの年間消費量は、2013年の7.76kgから2020年には8.87kgとなっており、増加傾向にあります。これは、英国への移民には主食としてコメを食べる文化を持つ国々からの移民(インド、パキスタン、中国(特に香港)、アフガニスタンなど)が多く含まれていることが影響しています。

B 消費の動向

英国にはアジア料理のレストランが非常に多く存在し、調査会社Ibis World社の推計によれば、2023年の総店舗数は13,259店となっています。そのうち、日本食レストランと寿司レストランの数は約1割を占め、今後5年間で緩やかな増加が予想されています。種類も高級店からカレー専門店、お好み焼き店まで多岐にわたり、寿司、弁当、麺類、カレーなどのテイクアウト専門店も人気です。地場系のカジュアルな日本食レストランチェーンも成長し、国外への進出も進んでいます。2023年の推計では英国の寿司市場は約12億英ポンドと言われています。

一方、日本食には高級なイメージがあり、日本人やアジアからの観光客・留学生が多い都市を除けば、ロンドン以外の地域ではまだ本格的な普及が進んでいません。アジア系以外の現地系の消費者に関して言えば、食文化は大分多様化していますが、白米を炊いて食べる習慣はまだありません。英国では日本産米に対する認識は一般的に「寿司米」としての使用に限られています。

表-1 コメの生産・消費・輸出入の状況

MY(7月~翌6月)	2021	2022	2023
生産量(千トン)	0	0	0
消費量(千トン)	610	620	630
輸出量(千トン)	31	33	40
輸入量(千トン)	644	637	680

(出典)USDA(精米ベース) 2024年1月30日時点

表-2 日本からのコメの輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	332	526	587
輸出単価(円/kg)	313	307	329

表-3 日本からの米菓の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	13	14	19
輸出単価(円/kg)	1,501	1,383	1,834

表-4 日本からの包装米飯等の輸出状況

暦年	2021	2022	2023
輸出量(トン)	8	5	13
輸出単価(円/kg)	503	653	734

(出典)財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く) 2024年1月30日時点

コメの主な輸入先国・地域

インド、パキスタン、ミャンマー、イタリア、ウルグアイ、スペイン、タイ

2

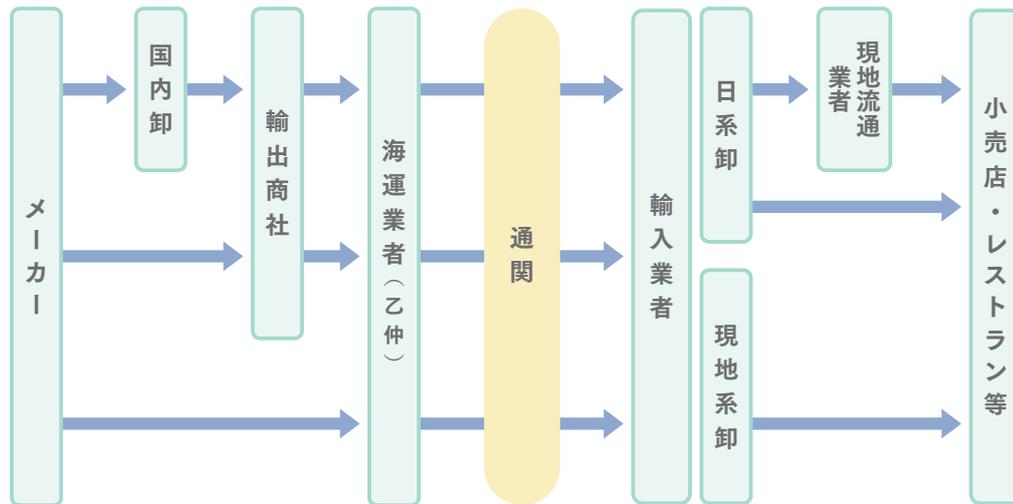
流通チャネルと取引慣行

日本食材の流通は日系卸がその大半を担う

A 日本産米の流通経路

日本産食品の英国における流通は、主に日系卸がその大半を担っています。これらの日系卸は通常、日本国内においてパートナーとなる輸出商社を有しており、取引が行われる際には、その指定商社を経由して商品が輸入されます。

なお、インタビューによれば、各段階におけるそれぞれのマージン（利益幅）は輸入業者、卸業者、小売業者いずれも約20～25%となっています。



(出典)日本貿易振興機構(JETRO)
「英国の日本食品市場の現状について(2016年7月)」より

B 取引慣行

日本産米は通常、常温コンテナで海上輸送されます。英国への輸送には約2か月かかりますが、英国の気候は日本に比べて冷涼・乾燥しているため、到着後も長期間精米状態で保存しても品質に大きな影響はないと言われています。海上輸送の費用はドル建てであり、需給や原油価格の動向等による変動が大きいです。

主な販売先は、日本食レストランや日系小売店であり、市場の広がり小さくとも安定的な取引が可能です。年に数回、日本から現地へ行き、営業や試食販売などの活動を行う輸出業者が売上を伸ばしています。現地系の輸入業者を通じた取引は、ラベル対応や荷姿、原材料、認証取得など輸出業者に求められる条件が格段に厳しくなります。ただ、これらをクリアできれば現地での宣伝効果は高まり、市場も大きく広がります。

3

関税割当枠と関税

EUの関税体系を引き続き適用

関税割当枠

精米については、行政委任立法2020 No. 1432に基づき、米国、タイ、オーストラリア以外の全ての国の合計で年間一定量の輸入関税割当が設けられています。この割当の枠内に該当する輸入については、関税率がゼロに設定されます。

また、玄米についても、同規則に基づき、従価税が15%、EU以外の全ての国の合計で年間218トンの輸入関税割当が設けられています。なお、日本産の玄米の場合、通常、価格単価が高いため、関税割当を用いた場合の関税率よりも、通常の関税率の方が低くなる場合があります。

■ 関税

2021年1月に発効した日英包括的経済連携協定(以下「日英EPA」)では、コメは関税削減・撤廃の対象外ですが、米菓については関税が即時撤廃されました。

玄米(HSコード1006.20.92)	25英ポンド/トン
精米(HSコード1006.30.42)	121英ポンド/トン
包装米飯(HSコード1904.90.10)	8.3% + 38英ポンド/100キロ
米菓(HSコード1905.90)	含有成分により異なる(日英EPAにより無税)
米粉(HSコード1102.90.50)	115英ポンド/トン

2023年7月、英国がCPTPPへの加入に関する議定書に署名しました。本議定書内では、日本から英国への輸出について、日英EPAでは関税が撤廃されなかった精米(約20円/kg)やパックご飯(8% + 60円/kg ※ポンド(GBP)から日本円への換算には2022年12月末為替レート)等で関税撤廃を獲得しています。英国加入議定書は、英国及び全てのCPTPP締約国による締結後、60日で発効されます。なお、署名後15か月以内に英国及び全てのCPTPP締約国が締結していない場合、英国及び6か国以上のCPTPP締約国が締結後、60日で発効されます。

玄米(HSコード1006.20.92)	即時撤廃
精米(HSコード1006.30.42)	即時撤廃等(※半精米等は、段階的に8年目に関税撤廃)
包装米飯(HSコード1904.90.10)	段階的に5年目に関税撤廃
米粉(HSコード1102.90.50)	即時撤廃

なお、英国は2020年1月31日にEUを離脱しましたが、離脱による混乱を避けるために設定された移行期間終了後も、移行期間終了時点のEU法は、原則的に英国国内法体系に直接組み込まれます(EU規則は、国内法となり、EU指令に基づく国内法の効力も維持)。調査時点(2023年10月)では変更はありませんが、離脱後の英国では独自の国内法も別途設けられており、一部EUの要求事項から変更がある可能性に留意してください。

4 検疫制度と食品規制

EU規則に基づき、引き続き規制

A 検疫制度

日本から英国にコメや米菓を輸出する場合、特別な検疫上の措置は求められません。植物検疫証明書の取得も不要です。ただし、栽培用のコメについては植物検疫証明書が必要となります。

B 食品規制

■ 製品表示の内容

- 食品名
- 原材料リスト(米菓及び包装米飯の場合。食品添加物については『用途+化学物質名またはEナンバー』で示す必要)
- アレルギー誘発物質(❖1)
- 特定成分の分量や使用割合(❖2)
- 正味量
- 賞味期限・消費期限
- 特別な保管条件や使用条件(ある場合)
- 輸入業者の名称・住所

- i. 原産国(❖3)
- j. 使用方法(説明が必要な場合)
- k. 実際のアルコール度数(飲料で1.2%以上の場合)
- l. 栄養表示(❖4 米菓及び包装米飯の場合)
- m. 製造ロット番号

- ❖1…グルテンを含む穀物、甲殻類、卵、魚、ピーナッツ、大豆、乳(ラクトース含む)、ナッツ類、セロリ、辛子、ゴマ、10mg/(Lあるいはkg)の二酸化硫黄または亜硫酸塩、ルピナス、軟体動物を含む場合。原材料リストの強調表示により表記可能。
- ❖2…商品名に含まれる原材料(Rice CrackerのRiceなど)やラベル表示で強調されている原材料が該当する。
- ❖3…最終製品の原産地と主原料の原産地が異なる場合に表示する必要。
- ❖4…エネルギー(kcalとKJの両方)、脂肪、飽和脂肪酸、炭水化物、糖類、タンパク質、塩分について100gあるいは100mlあたりで表記。

■ 重金属・汚染物質

欧州委員会規則(EC) 1881/2006により食品カテゴリー毎に汚染物質の上限値が規定されています。コメではアフラトキシン、オクラトキシンA、カドミウム、メラミン、無機ヒ素の残留濃度の上限値が規定されています。

■ 残留農薬基準

ポジティブリスト制となっており、欧州議会・理事会規則(EC) No 396/2005によって食品の種類ごとに規定されています。全ての食品に対する残留農薬基準値は、「EU農薬データベース(EU Pesticides database)」で検索が可能です。

■ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連した輸入規制

2022年6月29日、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う日本産食品の輸入規制は撤廃されました。

5 小売店の店頭価格

日本産米の流通は主に日系の食料品店となっています

A コメの販売価格

日本産米は主に日系の食料品店で販売されており、現地系のスーパーマーケットではあまり見かけられません。ジャポニカ米はイタリアやスペインなど欧州のコメ生産国や米国から輸入されており、価格を比較すると、日本産はイタリア産とほぼ同じくらいですが、米国産中粒種に比べて、約2倍の値段で販売されています。

B 包装米飯の販売価格

英国のスーパーでは、「Uncle Ben's」や「Tilda」などのブランドの様々な味のレトルト米飯が販売されています。これらの商品は、原料の生産国と製品の製造国が異なることがあります。英国産(英国で製造)の包装米飯は安価で販売されている一方、日本産のものは一般的に英国産のものよりも約2倍近い価格となっています。さらに、日本産の商品はほとんどが日本食材店で販売されており、認知度

表-5 コメの販売価格(調査月:2023年7月)

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (英ポンド)	販売単位での 円換算*
Akita Komachi	イタリア	10kg	49.99	9,212
Yumenishiki Italian Koshikahari	イタリア	10 kg	45.99	8,475
Haruka Japanese Style Rice for sushi	イタリア	10kg	37.99	7,000
Nishiki American California Rice	米国	4.54kg	12.98	2,392
Shinmei Akita Komachi	日本	2kg	11.99	2,210
Shinme Toyama Koshihikari	日本	5kg	24.99	4,605

表-6 包装米飯の販売価格(調査月:2023年8月)

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (英ポンド)	販売単位での 円換算*
Gohan Sushi rice Uonuma Koshihikari	日本	200g	1.36	251
Echigo Seika Nihon no Gohan	日本	120g×4	4.49	827
Sainsbury's brand Thai rice	英国	250g	0.85	157
Veetee Heat and Eat Sticky rice	英国	260g×2	1.40	258
Uncle Bens Original Golden rice	アイルランド	220g	1.40	258

が低いという課題があります。

表-7 米菓の販売価格(調査月:2023年7月)

商品名	原産国 (産地)	販売 単位	価格 (英ポンド)	販売単位での 円換算*
Kameda Seika Assorted Rice Crackers	日本	120g	5.25	967
Amanoya Soft Rice Crackers Soy sauce flavor	日本	116g	5.45	1,004
Sainsbury's Chilli Spicy Thai Rice Crackers	英国	125g	1.40	258
Bin Bin Original Rice Crackers	タイ	150g	2.00	369
Want Want Shelly Senbei Chinese rice cracker	台湾	12×15g	2.70	498

*1英ポンド=184.27円換算

C 米菓の販売価格

日本の他に、タイの「Bin Bin:賓賓」や台湾の「Wang Wang:旺旺」の米菓も販売され、「Wang Wang:旺旺」は現地系スーパーでも販売されています。日本の米菓の単価はタイや台湾の約3

倍です。英国の大手流通であるSainsbury'sではPBでミックスあられを商品化しています。包装地としては英国と表記されています。

6 インターネット販売の実態

英国のオンライン・スーパーマーケットは急成長し、大手スーパーがEC市場に進出しており、Amazonも食料品市場に参入しています。2022年には、インターネット販売は260億ポンド、英国の食料品の売上高の12%を占め、コロナ禍の最盛期からは減少しましたが、コロナ禍前に比べて8%増加しています。

日本食材店が運営するオンラインショップやインターネット専門の小売店が増え、これにより以前に比べて日本食関連商品の購入が容易になっています。さらに、一部の店舗では、欧州他国への商品配送も行っています。

主要ECサイト	a. Tesco	https://www.tesco.com/
	b. Sainsbury's	https://www.sainsburys.co.uk/
	c. Asda	https://groceries.asda.com/
	d. Ocado (❖実店舗を持たないオンライン特化型)	https://www.ocado.com/webshop/startWebshop.do
	e. Amazon	https://amazon.co.uk/
日本産米をオンライン販売している日本食材店		
	f. T.K. Trading	https://japan-foods.co.uk/
	g. JAPAN CENTRE	https://www.japancentre.com/ja

7 輸出拡大に向けて

日本産米の価格は、米国産より高いものの、EU産(イタリアやスペイン)と同等の価格になりました。この機に日本産米に切り替えた事業者へのフォローアップで満足させ続けることで、EU産の状況が変わっても日本産米を使い続けてもらい、さらに他の事業者にも影響を与えていくことが重要です。CPTPPによる精米の関税撤廃も、現地事業者にアプローチする良いきっかけになると考えます。

また、寿司、おにぎり、カレー等現地中食事業者が展開する日本食が多く、すでに一定規模のコメの需要を持つそうした事業者に対する継続的なアプローチも重要です。